

平成26年中の被害総額は、約5億3,700万円

県内の平成26年中の特殊詐欺被害総額は、約5億3,700万円と、平成25年の約4億5,100万円を上回り、過去最悪を更新し、とても深刻な状況にあります。

今回は、昨年11月下旬に県内で発生した昨年の最高額の被害事例①と、本年に入り発生した首都圏まで現金を持参させる上京型の被害事例②を紹介します。

被害事例① ～宅配便で合計4,400万円を送付～

県内在住のAさん（80歳代、男性）宅に、「投資調査委員会」のアカギと名乗る男から電話があり、「奥さんの株式投資でトラブルが発生し、裁判費用100万円が必要だ。」と言われました。Aさんの妻はすでに亡くなっていましたが、「生前に投資していたのかもしれない」と考え、現金100万円を宅配便で東京都内の宛先に送金しました。

その後、アカギから「あなたは100人中の5人に選ばれ、太陽光発電事業に投資できることになった。1,000万円投資すれば、7倍になって戻る。これまでの投資額に利益を加えた1億円を22日に届ける。」等と儲け話を持ちかけられ、現金を6回にわたって宅配便で送金しました。Aさんは、約束した22日になっても男が訪れないことを不審に思い、警察に相談し、詐欺の被害に気付きました。

「レターパック、宅配便で現金送れ」はすべて詐欺!!

被害事例② ～東京まで現金を持参させる!～

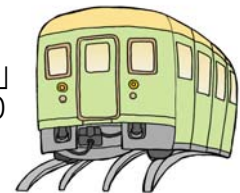
県内在住のBさん（70歳代、男性）宅に、息子をかたる男から電話があり、「インフルエンザで今日は会社を休む。携帯電話を忘れたので、上司の携帯電話を借りている。」等と言われました。

翌日、再び男から電話がかかり、「経理の者と一緒に会社の金で株をやり、2,000万円の穴を開けてしまった。バレたらクビになる。経理の者と1,000万円ずつ穴埋めしなければならない。なんとか1,000万円用意して東京まで持ってきてほしい。」等と言われました。

Bさんは、金融機関で1,000万円を引き出して待ち合わせのJR上野駅へ向かいました。

JR上野駅に到着したBさんが男に電話をかけたところ、「今、弁護士と話しているのでお金を取りに行けない。代わりにサイトウという弁護士が行くので、お金を渡してほしい。」等と言われ、Bさんは弁護士のサイトウと名乗る男に1,000万円を手渡しました。

その後、Bさんの携帯電話に本当の息子から電話がかかり、詐欺の被害に気付きました。



息子や孫をかたって

「お金を東京まで持ってきて」はすべて詐欺!!



お問合せ先

富山県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策係
電話：076(441)2211(代表)